



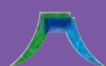
議会だより

2013.5
vol.38

ふじかわぐちこ



富士高原診療所開設



富士河口湖町は富士山世界文化遺産登録を推進しています

- こういうことをきめました 2P
- 予算特別委員会 4P
- 代表質問 10P
- 一般質問 12P
- 窓・議会見聞録 18P

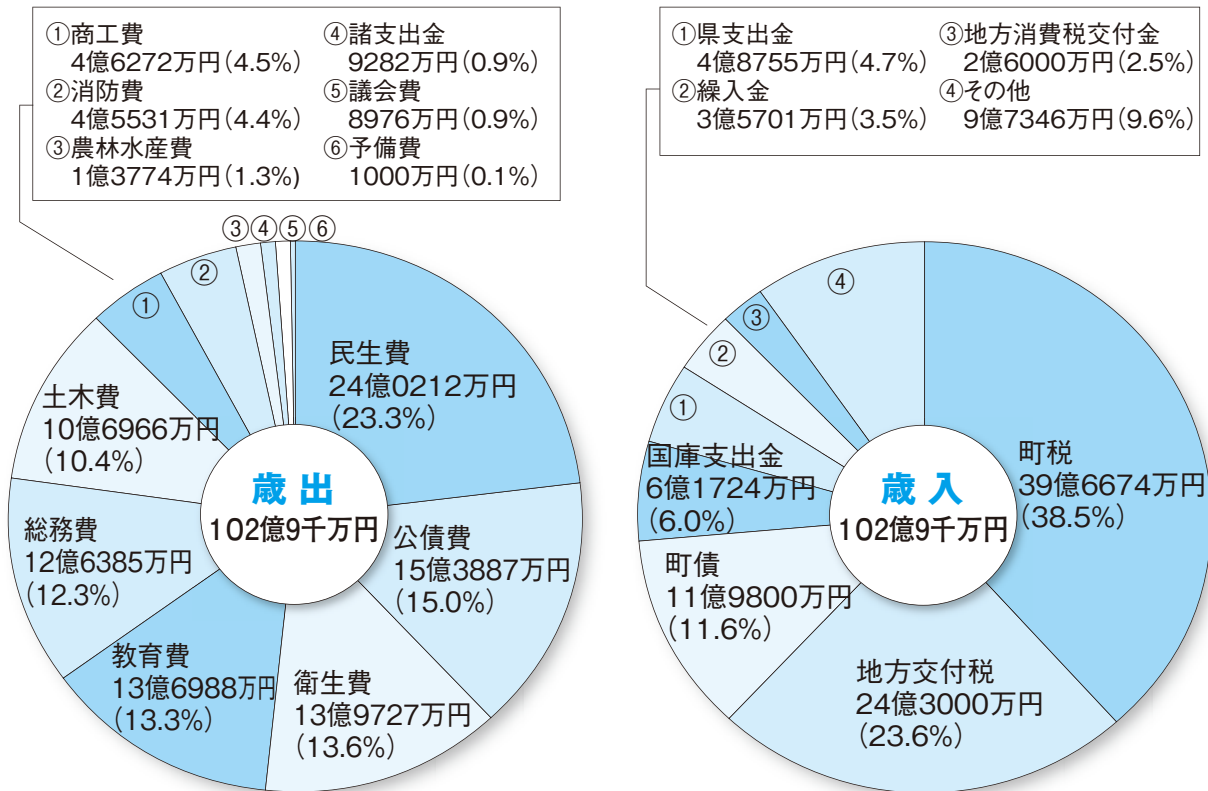
臨時議会 =102億9千万円の内訳

■第1回定例議会

平成25年第1回富士河口湖町議会定例会は、3月5日に開会し、会期を22日までの18日間と決めた。条例の制定8件、条例の廃止1件、条例の一部改正12件、補正予算14件、同意案件3件、請願1件などを審議し、すべて原案どおり可決、承認、採択された。

3月定例会は、一般会計と32の特別会計の平成25年度予算について、予算特別委員会を設置し、慎重な審議を行った。

平成25年度一般会計予算の内訳



国民健康保険特別会計予算 27億1,005万円
介護保険特別会計予算 15億7,555万円
下水道事業特別会計予算 11億9,610万円

対前年度総額5億円減少

■第1回臨時議会

第1回議会臨時会は、平成25年1月24日に開会され、副町長の給与の減額に関する条例の制定、富士河口湖町立富士高原診療所条例の制定、河口簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)、富士河口湖町温泉事業特別会計補正予算(第1号)、一般会計補正予算(第10号)は富士高原診療所開設に伴う改修費と備品で1,756万8,000円を審議、全員賛成で可決した。

町の予算が有効に使われるか 委員会でチェック!

平成25年度予算

予算特別委員会



委員長
三浦 康夫

副委員長
小佐野 快

一般会計

自主防災マップの内容は

質問 自主防災マップの作成補助について具体的にどのように作成するのか問う。

総務課長 現在までに船津地区の2地区が作成し、地区内の防火水槽あるいは消火栓の位置や危険箇所、避難所の位置などの防災に関する情報を記載している。

質問 昨年に続き500台の防災ラジオを購入するがその配布先は。

総務課長 無償貸与で障がい者や旧河口湖地区で、聞こえづらい地区に優先的に配布する。

質問 レスキューセット10台購入するがその内容は。

総務課防災係長 バール、金づち、ロープ、事故の時に車を開けるような道具一式である。

質問 寒冷地手当に対する町の考え方を問う。

総務課長 この地区が寒冷地に指定されているので国家公務員に準じた形で寒冷地手当を支給している。

庁内の超過勤務を削減

質問 長時間にわたる超過勤務があるのか?

総務課長 超過勤務は年間で統計をとっており、年間300時間、月25時間位になる。それを超える職員が23年度で3名いた。健康管理と経費面から削減に取り組んでいく。木曜日に「ノー残業デー」を実施し、できるだけ代休を取るよう指導している。

質問 都留市の桂高校跡地に健康科学大学が看護学部を創設し開校するそつだが。

町長 当町に看護学科を設置するのが私の基本的な考え方であり、県や富士吉田市と協議してきたが、桂高校が統合されることにより費用面等総合的に判断され、都留市になったものと思われる。

国際交流事業の具体的な計画は

男女共同参画・国際係長 町の国際交流活動を推進するためにワークショップを立ち上げる。アイデアを生かしながら国際交流の具体的な方策について意見交換や事例発表を行う。官民協働により町の国際化を検討し、地域に住む外国人を通して海外との交流を進める計画である。

質問 芙蓉の湯や健康プラザの温泉の使用料

について問う。

健康増進課長 芙蓉の湯は23年度に約5000人の利用があり、そのうち約44%が有料である。高齢者、障がい者、未就学児は全体の56%という割合である。

地方交付税は町民1人 当たり約9万3000円

質問 今年度予算を見ると町税の構成比率が前年度の36・2%から36・8%になった。この町税の予算を見積もった状況の説明を。

税務課長 国の示す地方税の財政指標等も勘案しながら予算の見積もりを出している。経済的な状況が、好転する方向に進んでいるということと考えている。

質問 本年度の基準財政需要額からいって、人口割でだいたい1人幾らくらいで見積もり計算してあるか。

政策財政課長 25年度ベースの予算編成時の地方交付税の関係は1人当たり約9万3000円である。

自転車イベント「ル・英雄」 を開催

質問 新しいイベントの「ル・英雄」とは。

観光課長補佐 イタリアのトスカニア地方で16回行われてきた自転車イベントで、日本で



寺川橋

も第1回目はぜひ世界遺産をめざす富士山周辺で、という話が来た。西湖、精進湖、本栖湖、富士ヶ嶺、河口湖を回るコースを予定。

質問 クニマスでの地域振興に力を入れている西湖漁協に、特別補助金を検討しては。

町長 県の補助もあるようだが、前向きに検討したい。

インフラ設計図等の管理 を徹底

質問 県管理の橋の設計図が保存されていない。改めてつくったと報道された。町管理の橋の補修計画を策定するが、設計図はあるのか。

都市整備課長 町が管理する102本の橋すべては設計図が保存されていない。町内では小さな橋が多いので補修計画策定は可能である。

質問 木造住宅耐震診断の補助10戸を見込んであるが、診断が必要な住宅はかなりあると思われる。申請することがきびしい高齢者などは民生委員や自治会などの協力をお願いしたらどうか。

都市整備課長 基本は個人申請だが地元の建築設計の方と協議会をつくり、よびかけをしている。

街路灯のLED化を推進

質問 LEDの街灯導入の予算が100万円あるが、何基を見込んでいるのか。

都市整備課長 50基を予定。街灯の取替えや新規設置の要請にはLEDに切り替えて支給していく。

質問 LEDだと暗いという声もあるが町はLED化をすすめるのか。

都市整備課長 電気代が安くなり自治会の負担軽減になるため、自治会と協議しLED化を進めたい。

家賃滞納者を把握せよ

質問 町営住宅使用料の滞納額はいくらか。

都市整備課長 滞納者は4人で約729万円である。

質問 収入見込み約1400万円の半分に匹敵する滞納額がある。滞納者は生活困窮者なのか、払える方もいるのか、きちんと把握し慎重に判断し整理していくべきだ。

都市計画係長 悪質な滞納者には裁判所の調停を行ったケースもあった。法的な対応も含めて取り組んでいきたい。

除雪費不足分は補正予算で対応

質問 除雪費が1200万円とある。平成24年度は補正も含めて2800万円だ。勘定が合わない。

都市整備課長 平成24年度は氷を割る作業もあり費用が多くなった。1回600万円として、合併後の除雪出勤回数平均2回分を見込んだ予算。足りない場合は補正で対応したい。

学校が嫌いにならない環境づくり

質問 スクールソーシャルワーカー設置の目的は。

学校教育課長 学校内のいじめや不登校が問題となっている。原因は多様であり学校だけで対処できないので、ソーシャルワーカーにコーディネートしていただく。

質問 教育センターは新年度を前に体制的に新たに変わったところがあるか。

教育センター長 相談にかかわっている子ども達の多くは家庭的に問題が多く、学校から家庭に対しての働きかけも非常に難しい部分もあった。ソーシャルワーカーが入ることでより、来年度は一步進んだ前向きな相談指導ができるのではないかと思っている。

学校トイレの洋式化を推進せよ

質問 ソーシャルワーカーを設置し一步前へ進んだ観がある。非常に限られた予算ではあるが、どのような活動をするか教育委員長に伺う。

教育委員長 昨今、いじめや体罰などいろいろな問題があるが、子どもはみな学校へ行くのを楽しみにしている。その子ども達が学校を嫌にならない環境をつくることが一番大事だと考えている。



河口小学校和式トイレ

質問 小中学校補修工事費で和便の改修と説明があったが、和便の学校はかなり残っているのか。

学校教育課長 船津小と小立小は洋式化が完了している。大石小、河口小はまだ各トイレに1つぐらいしか洋便になっていない。今回の工事は大石小を予定している。学校の要望があれば実施する。

質問 学校から要望があるにかかわらず計画的に洋式にすべきではないか。教育長の見解を伺う。

教育長 家庭はほとんど洋式のトイレになっている。一方で便座に肌をつけることを拒否するという子どもも多いという話も聞くので、兼ね合いを見ながら使用人数を確実に把握し暫時計画的に進める以外にないと考えている。

26年度インターハイの準備は

質問 来年のインターハイでボート競技場の波をどうするか。それからボート管理棟階段のタイルがはがれているが改修工事はやらないのか、

生涯学習課長 消波装置は県が準備する方向でいる。25年度はインターハイに向けて実行委員会立ち上げの予算のみで、管理棟については26年度の予算になる。

国文祭を成功させよう

質問 国民文化祭への取り組みは。

文化振興局長 国民文化祭は第九の演奏会、またジャズフェスティバルで多くの人に音楽に親しんでいただく。また、ジャズストリートとか、お店でBGMを流していただけるような協力で、町民が国民文化祭をきっかけに、文化を身近に感じるよう努めていきたい。

質問 文化振興局は本年何名体制でやっているのか。

文化振興局長 職員2名、嘱託職員が1名、臨時職員が3名、繁忙期の臨時職員として2名を予定している。

質問 夜遅かったり職員に負荷がかからないような体制づくりを。

文化振興局長 どうしてもイベントが夜遅くなったりするが、できるだけ効率よく進め、健康に害がないように努めていきたい。

円形ホール・美術館の有効活用を

質問 円形ホールは年間通してどのくらい使われているか。

文化振興局長 3月1日現在、貸しホールが48件で60日、主催事業が6件で16日、合計では54団体が使用しており年間稼働日数は76日

である。

質問 円形ホールを活用するための営業活動は。

文化振興係長 2、3年後のイメージをもって、アーテリスト、音楽事務所、また一部は旅行会社等の営業を行っている。また、ピアノの発表会等については、郡内を主とした山梨県内を中心に営業し、ステラシアターも合わせて営業している。

質問 美術館については、そのあり方や経費面で大変だという話もある。町長の美術館に対する考え方を伺う。



円形ホール

町長 町民ともう少し密接なつながりを持たせたいという考え方を常々示している。ただ、美術館としての格付けがあり、なかなかそのようないことができていない。しかし、最近は町民や子どもを中心としたイベント等に取り組んでいる。今後、運営委員会等でよく議論を進めていきたい。

住民目線で無駄のない 財政執行を

質問 総額102億9000万円という大金が予算として計上されている。国民や町民から預かった大事なお金である。住民目線で無駄をなくして慎重に使っていただきたい。考え方を町長に伺う。

町長 私は、福祉、環境、教育を基本とし、また、当町は非常にエリアが広域だが、地域ごとに特徴を持っているので、それを活かしていきたいと考えている。これらを踏まえて町民目線で財政執行に当たりたい。

質問 住民サービスという観点で、もてなすとは持つて為すということで、相手が求めていることを想像し、考え、共感し、行動するということ。このような教育を、全職員に徹底していただきたいが町長に伺う。

町長 私自身も常々、職員には呼びかけをしている。まだまだ皆さんに対する接遇の問題等、課題があるかと思う。職員に対して徹底していきたい。



園庭で遊ぶ子どもたち

冬期に灯油代の補助を

質問 予算書を見て、町もいろいろ努力されていると感じるが、灯油代の高騰などで大変な状況にある。灯油代の補助を次の冬に向けて検討していただけないか。町民の家計を暖める最も有効な施策だと思うが伺いたい。

町長 住民の皆さんの声を届けていただいていることは、重々承知している。一つの具体

的な提案だが、この場で即答はできない。ご意見を賜ったということで理解をしていただきたい。

大規模保育所の解消策は

質問 200人もの子どもが通っている船津保育所の対策は。

福祉推進課長 船津保育所は214人で、他の町村と比べても余り例がない規模である。今後、こども・子育て支援事業計画の中で対応を検討する。

質問 富士高原診療所で予防接種が受けやすくなるように。

健康増進課長 富士高原診療所の診療科目は内科、小児科で、子どもの予防接種、高齢者のインフルエンザも含めた予防接種が可能である。精進、本栖地区には毎週月曜日に送迎バスを運行する予定である。

企業立地アドバイザーを 導入し企業誘致

質問 財政を増やすためには企業誘致や大学誘致が欠かせない。今年企業誘致に対してどのくらいの重点をおいて実施するのか伺う。

町長 企業立地アドバイザーの導入をベースにして、人的な配置もこれから考慮し取り組んでいきたい。実行性のあるものについ



ては私自身が先頭に立って誘致のために動きたい。

質問 企業誘致イコール土地をどう提供できるかである。さらに法人税の減免だが、これは条例なしにはできないので町長の考え方を伺う。

町長 現状では誘致の条例、規程があると思う。見直しや改善点が必要であればしていく。

国民健康保険特別会計

質問 国保税の徴税強化に来年度どのように取り組んでいくのか。

住民課長 現年課税分の収納率を高めるとともに、税務課と十分な調整を行い、滞納繰越分の圧縮も同時に図っていく。

質問 国保税の納付が困難な場合に、どのような対応をしているか。

住民課長 被保険者と直接面談の機会をと、家庭の状況を詳しく聞き、納められる範囲の誓約書をいただき保険証を交付している。

質問 ジェネリック医薬品に変える効果は。

住民課長 高血圧症の治療薬でいうと、155円10銭の薬がジェネリック医薬品に変えると45円になる。さらに安価なものは10円50銭でかなりの差額となる。

水道事業特別会計

質問 料金が値上げされるが来年度の水道料金の徴収方針は。

水道課長 収納係2名で滞納整理、現年分の徴収を行っている。大口滞納者には、給水停止等を視野に入れ、徴収率がアップできるように務める。

質問 水道料値上げにより支払いが困難な家庭への対応は。

水道課長 法令、条例、規則にのっとりて対応せざるを得ない。

本栖下水道事業特別会計

質問 本栖コミュニティプラントの完成目標は。

水道課長 25年度に計画し、26年度に工事着手、完成予定である。

本栖コミュニティプラント



管理室



浸透トレンチ

知りたい!

聞きたい!



親樹会

代表・関連質問

新年度予算は

質問 財政が厳しい中、町の基礎的な財政収支を示すプライマリーバランスの数値は。また、国の緊急経済対策の対応策はあるのか。

政策財政課長 当町のプライマリーバランスは、約4億4000万円の黒字である。平成20年から黒字に転じている。合併特例法で優遇措置されていたが、平成26年度から交付税減額が始まるので、創意工夫した歳出予算措置に努める。緊急経済対策にかかわる施設の老朽化対策、防災・安全対策金などを念頭に入れ、予算編成をした。

富士山世界遺産登録への取り組みは

山梨県・静岡県が目指してきた富士山の世界文化遺産登録が決定し、朗報が当町に届いた時、構成遺産の保存管理と当日のセレモニーの具体策は。

政策財政課長 重要文化財富士御室浅間神社本殿保存活用など町内構成資産の厳粛な保存管理を行い、世界文化遺産としての価値を維



「環境美化宣言」による清掃—八木崎公園(六角堂)

持して行くことが、最重要課題である。また、町内での記念イベント並びに富士北麓の広域的イベントも必要と考える。

関連質問(渡辺元春) 本年2月23日「富士山の日」に富士吉田市において、横内知事を迎え、富士北麓6市町村の代表者や県議等が参加し、富士北麓の「環境美化宣言」が行われたが、具体的な活動は。



親樹会 代表質問者
梶原 武

ね、一斉に日時を決め清掃活動を実施し環境活動に努める。

関連質問(渡辺余緒治) 来る5月25日河口湖で万人規模の「アレチウリの駆除活動」が行われる。美しい自然環境を守るために継続的な活動が有効であるが、実施内容は。

環境課長 当地の他、山梨県、環境省及びNPO富士山クラブ等の関係者やインターネットに参加者を募集し、大池公園をメイン・大石公園をサブ会場とし、人海作戦で水辺の駆除・清掃活動をする。

自治会や区の未加入者対策

質問 各地区自治会で隣組離れが加速し、未加入者の増加が懸念され深刻化している。未加入者増加に対しての策を講ずるべきだ。

総務課長 自治会や区は行政と深くつながり、地域の活性化、安心・安全な町づくり、さらには防火・防災には欠かすことの出来ない住民団体である。未加入者の増加策とし

て、自治会に加入するメリットを記載した「自治会の手引き」などを作成して行きたい。

関連質問（高山泰治） 富士河口湖町は、自治会に入っていない人のメリットが大きすぎると思う。たとえば、自治会に配布している印刷物は、町で直接配っている。また自治会未加入者は、街灯費・育成会費・消防団協力費・体育協会費等を納めていない。さらに、ごみステーションの管理は自治会で行っている。以上のことを考え、未加入者対策をしていただくよう要望する。



こうもり穴

04 西湖いやしの里根場、西湖コウモリ穴、西湖野鳥の森公園の管理

質問 西湖地区にある3つの町直営の施設を、総合的に一元管理することがより効率的であると思うが、考えは。

観光課長 数回の検討会を実施し、平成23年3月に西湖地区観光ビジョンを策定しており、3施設について、将来的には地元が整備・運営にかかわってゆく方向で検討することが提案されている。平成25年には、より具体的な検討を進めていく計画で、その中で提案された統合的一元化についても検討する。

05 福祉の中核、社会福祉協議会事務所の有効利用は

質問 社会福祉協議会事務所は旧日赤病院の建物の2階にあり、大変不便で老朽化も激しく、耐震診断も含め検討及び対策が必要である。また、旧日赤病院エリアを福祉ゾーンと位置づけ、施設の見直し、充実を図ることを提案する。

福祉推進課長 町としては、1階に事務所及び会議室があり、駐車スペースの確保が出来

代表・関連質問



福祉施設群

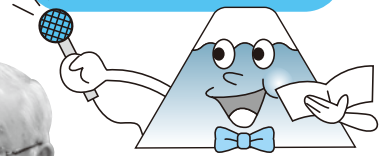
る施設が社会福祉協議会の事務所にふさわしいと考える。ふれあい子供館、通所授産施設パルパル、デイサービスセンター、健康科学大クリニック、健康プラザ及び屋内ゲートボール場など、福祉と保健施設が一体となった福祉ゾーンとして、整備検討していく。

再質問 実現を望むが町長の考えは。

町長 福祉政策は私の3本柱であり、重点を置いて取り組む。25年度は福祉ゾーン計画調査事業を盛り込んだ。その後は優先して取り組む考えである。

知りたい!

聞きたい!



Q1 もしもの噴火に備えて

質問 噴火に伴う土石流や溶岩流、雪が積もっている季節の融雪型火山泥流に対する影響と対策について問う。

総務課長 富士山噴火に対する予防対策として土石流や溶岩流、融雪型火山泥流対策については町単独ではなかなか整備が難しい。富士山火山防災協議会の議論をもとに広域的な協力体制の中で対策を進め、町単独でできるものは速やかに対応する。

質問 富士山の保全対策として、火山泥流対策や大雨災害に備えた調整池の建設について国や県を動かし建設する考えがあるのか町長に問う。

町長 多額の事業費がかかることやまた広域的な整備が必要ことから、町単独での整備は難しい状況であるが日本一の富士山の噴火、防災対策である点を強調し、広域的な対



一般質問者
堀内 昭登

一般質問

応をする必要があるので国や県に要望する。

質問 雪代沢であるテンニヨの沢の河川改修や防災計画を問う。

都市整備課長 テンニヨの沢については、国や県、富士吉田市、富士河口湖町が連携をとりながら、それぞれの立場により実態調査、



交通安全

対策の立案、事業計画を進めている。当町では継続的に雪代沢のしゅんせつや改修工事を続けている。

Q2 住民の福祉の向上と健康増進を図るために

質問 町営温泉休養施設や高齢者体力づくり

センターの経営について問う。

町長 施設運営は開設時から利用者からの施設使用料と各財産区からの繰入金及び一般財源により賄われている。近年、燃料費の高騰や老朽化による改修等で維持管理費が増加し、施設の運営には一般財源を投入することで財産区からの繰入金の抑制を図っている。今後も維持管理の経費は膨らむものと予想される。両施設の目的や福祉サービス、市民の健康増進と高齢者の交流の場、介護予防の役割を担う施設として今後も活用していく。

Q3 通学路の点検と歩道の確保について

質問 通学路の緊急点検を早急に実施し、警察、道路管理者、学校やPTA、地域住民の関係者で連携する実効性の上がる交通安全対策が行われるよう教育委員会の考えを問う。

教育長 昨年、各学校で危険箇所を拾い出しを実施した結果、緊急に警察や道路管理者で緊急に対応してほしい箇所が10カ所ほどあった。町や県に早急に改善をお願いし、学校ではPTAの旗振り、交通安全教室の実施、職員による街頭指導等で対応していく。通学路における危険箇所の改善のために学校と連絡を密にし、危険の回避に努める。

○その他の質問
有害鳥獣による被害を防ぐ対策を

1 西湖根場移住地の無償払い下げについて問う

質問 昭和41年の台風26号の災害より壊滅的な被害を受けた、西湖・根場の両地区は、県有地を移住地として整備し、現在に至っている。地域では、県より無償での払い下げを求めているが、町としての今後の方針は。

総務課長 県有地の払い下げについては、県の管理条例に基づき対応している。原則個人への払い下げはしないが、公共性、公益性がある場所は、売り払いも可能とのことである。

無償譲渡を希望しておられるが、厳しいのではないかと判断している。しかし、住民の気持ちを真摯に受け止め対応していきたい。

また、町では西湖・根場のほかに精進地区も同様に県有地を借地しているので、できるだけ歩調を合わせた対応をしたい。地域の皆様と協議を進めていきたい。



一般質問者
三浦 康夫



西湖移住地(西湖民宿村)

2 クニマスでの地域振興を問う

質問 クニマスを活用した地域振興に向けて、山梨県も巻き込み官民連携で取り組む必要があると思うが。

政策財政課長 クニマスを守り続けた西湖地域に展示施設を建設していただきたいとの地域の想いを受け、町長が山梨県に対し必要性を力説し、嘆願した。これを受け山梨県は平成二十五年度予算に調査費を計上した。山梨

一般質問

3 防災道路の整備を問う

県のご協力をいただきながらクニマスを地域の宝として活用していきたいと考えている。

再質問 地区住民の声や西湖向浜親水公園構想にも合わせた施設整備を要望するべきだと思うが。

町長 住民との対話を進めて参りたい。

再々質問 合わせて長浜親水公園計画も官民連携して進めていただきたい。

町長 地域住民が自主的に地域を良くしていくことに対し、積極的に目を向けて参りたい。

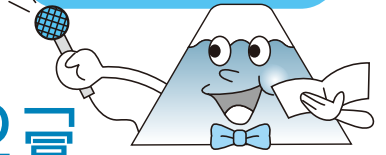
質問 広域防災対策に向け、主要幹線道路の整備が必要ではないか。勝山地区と長浜地区を抜けるトンネルの整備、大石扇崎付近の道路整備など、大規模災害時には地域住民だけでなく観光客の命を守る道路となる整備が望まれるが。

都市整備課長 勝山地区から足和田地区に抜けるトンネル整備だが、県関係者も合併支援道路として理解していただいているので、町も更なる働きかけをしていく予定である。北岸の扇崎トンネルは、山梨県の事業として測量設計が終了し、用地買収の段階に入ったと聞く。こちらについても山梨県に働きかけをしていきたい。

○その他の質問

自然エネルギーの活用に向けた公共施設の利用について
国の補正予算の活用について

知りたい！
聞きたい！



「富士御室浅間神社」 の恒久的堅持

質問 世界文化遺産登録の構成資産の1つである「富士御室浅間神社」は、劣化が著しく、磨耗・退色が進みつつある。この貴重な文化的財産を恒久的に堅持していくため、国・県、町、所有者が共通した認識のもとで



富士御室浅間神社

一般質問



一般質問者
小佐野 快

一体となり、抜本的な対策を講じる必要に迫られていると思う。町ではどのような措置を考えているのか。

生涯学習課長 本殿は昭和60年に国の重要文化財に指定され、昨年築400年を迎えた建造物である。修繕、修理には相当な費用もかかると思われ、国や県の補助金などの制度を活用して保存修理を実施していくことを検討していきたい。

「道の駅かつやま」の 整備計画を示せ。

質問 富士御室浅間神社、シツゴゴ公園、小海公園、羽根子山を結ぶ大切な観光資源を有効活用していくことが奥河口湖の観光に大いに貢献できるものと確信をしている。町でも、ぜひ積極的な整備方策を講じていただきたいが、どのような方針でいるのか。

観光課長 勝山地区観光ビジョンの取りまとめを急いでいるが、道の駅かつやまから富士御

室浅間神社のゾーンの整備活動、そのエリアの周辺の山や町なかの観光資源を生かした観光ルート上の整備という課題に取り組んでいる。

地区公民館施設整備を

質問 現在の老朽化した老人福祉センターを地区公民館として改築し、社会教育活動の拠点として活動していくことが勝山地区住民の総意であると認識をしている。政策的観点から町の考えを。

町長 勝山地区には公民館としての位置づけの施設はなく、必要性は十分感じている。地元町会議員各位や地元住民の皆様を初め、県などと十分な協議を行い、改築を前提に前向きに検討していきたい。

勝山地区の土地改良区内 に道路標識

質問 学校南側の土地改良区内を中心に、より識別が容易な道路標識の設置が必要であると考えるが、町の整備計画は。

都市整備課長 勝山地区の土地改良区内に道路標識がなく、ご不便をおかけしている。提案されたご意見、要望を検討し、交通安全対策を加味し設置の方向で進めていく予定である。

○その他の質問

世界文化遺産登録後の環境美化・保全を地元との連携協力が不可欠。

1 冬季の富士スバルラインの活用は

質問 富士山世界文化遺産登録が実現した際には、冬季の5合目観光の要望も一層高まるものと思われ、県に積極的に働きかけることが重要である。冬季観光の目玉となる、冬場の富士スバルライン活用への町の考えは。

町長 富士北麓地域市町村並びに観光業者等で協議をした上で、観光立町である富士河口湖町の町長として、先頭に立ち県及び県道路公社に働きかけていきたい。

2 幅員の狭小道路への対応は

質問 富士見町二丁目第6組より陳情書が議



富士見町2丁目第6組への狭小道路



一般質問者
古屋 一哉

会に提出された。内容は「道路の幅員が狭過ぎて、有事の際に消防車、救急車が入れず大変心配なので拡幅してほしい」とのこと。住民だけで幅員の拡幅を進めるのは、困難なので、町がイニシアティブをとり、町道の幅員の狭小道路解消を進めて欲しい。

都市整備課長 現場は本場に狭隘道路で消防車、救急車が進入できない道であり、拡幅の必要性があると認識している。拡幅するのか迂回道路の設置が可能なのかを調査し、地権者並びに地区住民に説明会を開催し、大方の地権者の同意を得ることができたら、測量、設計、工事施工と進めていく。

3 町道の除雪は

質問 1月14日の大雪の際に「いつ除雪に来てくれるのか」「除雪が行き届いていない」「除雪の格差がある」などの苦情も数多く寄せられた。除雪の指導管理体制の徹底と除雪費の増額や細分化の検討も視野に入れ、町民目線で町民の望む行き届いた除雪体制づくり

一般質問

を望むが、町の考えは。

都市整備課長 除雪単価の見直しについて財政当局と今後検討していく必要がある。また、業者間で除雪状況に差があったことも把握している。業者と地域の話し合いを持ち、除雪方法の徹底をしていく。

4 積雪時の通学路、歩道の除雪は

質問 通学路や歩道の大雪時の除雪は、子ども達や観光客の安全面からも重要な課題として取り組む必要があるが、町の考えは。

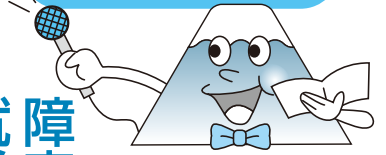
学校教育課長 大きな課題であると認識しているが対応が大変難しい問題でもある。通学路の拡大もあり完全な除雪にはほど遠い状態である。通学路、歩道の除雪には、町民の力をお借りするなどさまざまな視点からの可能性を見出す努力をしなければならぬと考える。

5 パソコンリース料は

質問 パソコンリース料は3000万円である。進化や低価格化は著しく、パソコンリース料の見直し時期が来ている。タブレットの購入へ随時切りかえていくことでリース料の削減も期待でき、IT授業の目玉となる電子黒板の順次導入も3000万円の範囲内で十分可能になり得ると考えるが、町の考えは。

学校教育課長 平成25年度からパソコンのリース料を検証・検討し、契約時期のものからパソコンリース料の減額に努力していきたい。

知りたい！
聞きたい！



障害者の自立支援、 就労支援の取り組みは

質問 「障害者優先調達推進法」が4月から施行される。障害者の就労機会を増加させ、自立を促進することが目的。自治体にも努力義務があるが、全庁的にどのような取り組みを考えているのか。

福祉推進課長 イベント等の出店には優先的に場所を提供するなどの今まで実施してきたことは継続し、新たに、障害者が加工したフアイルの購入や、パン・お弁当の販売を昼休みに庁舎の一部を開放するなどを検討中。

子育て環境の整備は

質問 昨年8月「子ども・子育て関連3法」が成立し、平成27年度運用開始までの2年間、「地方版子ども・子育て会議」の設置や「子ども・子育て支援事業計画」の策定など、やる事が山ほどあるが、来年度のスケジュールは。

福祉推進課長 6月の定例議会に「子ども・子育て会議」の条例制定や経費を計上。保育の需要や供給状況把握などの調査を行い、支

一般質問

援事業計画は26年度末に策定予定。

学校給食アレルギーの 対応は

質問 東京調布市で食物アレルギーによる痛ましい悲劇が起きたが、当町における食物アレルギーをもつ児童・生徒の数とその対応を伺う。



河口小学校の給食風景

資源ごみ処理の改善を

質問 町内5カ所のリサイクルステーションへの持ち込みを24時間可能に。また、リサイクル品目の徹底や回収品目の見直しなど、改善するべきだが。

環境課長 当町の資源ごみ回収品目は、新聞紙、雑誌、段ボール、トレイ、アルミ缶、スチール缶、生ゴミ、廃油、紙パック、ペットボトル、発砲スチロールの11品目。町内17カ所の分別リサイクルボックスは品目が限られているが24時間持ち込み可能。

学校教育課長 町内5小中学校に食物アレルギーをもつ児童・生徒が24人おり、除去食や代替食で対応している。アナフィラキシーショックになった場合のエピペンは1人携帯している。今後、学校ぐるみでエピペン使用の練習もしていきたい。



一般質問者
佐藤 安子

1 町内の道路、橋梁などの安全点検、補修を

質問 町内の道路、橋梁、土砂災害などが心配される危険箇所(point)の点検と補修を早急に行っていくべきだ。

都市整備課長 町内102の橋梁の点検はすでに終了し、平成25年度に補修計画をつくる。道路やトンネルは平成25年度に現状把握、補修計画をつくり、危険箇所の点検も行う。いずれも計画作成後、国の補助対象となるので、平成26年度以降に補修をすすめていく。

2 町内の歴史、文化資源を活かして地域活性化を



産屋ヶ崎の「芭蕉句碑」

質問 富士山世界文化遺産登録をめざしているこの機会に、町内の歴史、文化資源を活かして地域活性化、観光振興を図ることが望まれる。町内で民間団体により行われている、歴史や文化のガイド養成の取り組みは重要であり、ぜひ町の支援強化を。

政策財政課長 町内ではガイドを行う団体が積極的に活動を行っている。各種団体のネットワーク化をはかり、これまで以上に情報交換、事業の連携を図るように努力したい。町生涯学習課主催の歴史や文化を解説する講座を、平成25年度も行う予定。

3 住宅リフォーム助成制度の実施を

質問 民間住宅や店舗などのリフォーム費用の一部を自治体が補助する、住宅リフォーム助成制度は、地元業者の仕事を増やすことにつながる制度。景観の保全強化に取り組む町民にも支援となるので、ぜひ実施を。

町長 小規模業者育成、地域経済活性化、景観の保全強化などに有効な制度である。実施に向けて、交付要綱を平成25年度内には策定したい。

4 国保税の引き下げを

質問 年金支給額引き下げ、年少扶養控除の廃止など、町民生活はますます苦しくなっている。町民負担軽減のために、高い国保税の引き下げを。

町長 国保税の負担の現状は重く受け止めているが、国からの財源収入も増えず、医療費も減少しない現状では、国保税の引き下げは考えていない。

5 特定健診の自己負担金の軽減を

質問 平成24年度の特定健診の受診率見込みは。

住民課長 平成23年度の約30%を下回る、約26%の見込み。

質問 受診率向上のために、基本健診の自己負担金1500円の無料化の検討を。

住民課長 自己負担もある程度必要。平成25年度は、基本健診の自己負担金1500円のままで、新たに心電図検査を受けられるようにする。



一般質問者
山下 利夫

春爛漫のさくら便り



三浦 和正 (勝山)

戦争のため幻に終わった昭和15年の東京オリンピック。

このイベントに向けて外国人用の県営ホテルとして産声を上げ、地元とともに歩んでまいりました富士ビューホテルも皆様のおかげをもちまして、本年6月15日に開業77周年を迎えることとなりました。

正面には富士を庭続きに河口湖と絶好の立地条件に囲まれ、3万坪の大庭園には遊歩道を完備しさくら・ツツジ・紅葉や野鳥のさえずりなど、四季折々の自然と触れ合うことが出来ます。

山梨県内でも指折りの桜の名所として知られる庭園内にはソメイヨシノ136本、しだれ桜27本、八重桜7本、富士桜101本、山桜53本などおよそ330本のさくらが咲き誇ります。なかでも文豪、谷崎潤一郎先生も愛した『しだれ桜』はホテル開業当時からあり、桜と富士山の眺めは山梨100選にも



春風景

選ばれております。開業以来、皇族をはじめ多くの文化人が訪れ愛されてきましたが、そんな富士ビューホテルを支えているのは、今も昔も変わらない心からのおもてなしと、美しい自然と安らぎの調和です。

満開の夜桜ライトアップも含めて、ぜひお出かけください。

議会見聞録

議会を傍聴しませんか

次の定例会は6月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。
入口には注意事項が掲示されています。

初めて議会を傍聴させていただき、議員の皆様が町民を代表して質問している姿には心から感謝いたします。しかし、事前に質問を町へ提出して、担当職員が回答している姿は少し物足りなさがあり、お互いがもう少し激しいやりとりがあっても良いのではないかと感じました。傍聴者が少なかったので、大勢の方に議会傍聴をしていただきたいと思います。今回の傍聴によりいろいろなことが身近に感じ有意義な時間でした。堀内里美 (河口)

編集後記

早咲きの桜から若葉の季節になりました。
ランドセルが背中いっぱい
の小学1年生が、明るく通学しています。

4月から新しい生活を始めた方も、少しずつ生活に慣れたでしょうか。目標に向かって頑張ってくださいと思います。

議会では、平成25年度予算を予算特別委員会の慎重審議を経て可決し、4月から新年度がスタートしました。

「議会だより」は議会の内容をわかりやすく伝え、とくに、皆様に親しみをもちて頂くよう、委員も編集にがんばっています。

皆様のご意見、ご感想をお寄せ頂ければ幸いです。
(渡辺元春・記)

●議会広報常任委員会
委員長 渡辺 洋
副委員長 堀内 昭登
委員 渡辺 元春
佐藤 安子
小佐野 快
山下 利夫
古屋 一哉
小川 清治
駒谷 隆利

